

## SIH 道場・総合科学入門講座 導入

担当：山口裕之 yamaguti@tokushima-u.ac.jp

### 【「大学入門講座」シリーズ】

- SIH 道場: 大学で学ぶ心構え・履修手続き・友だち作り + ( )
- 総合科学入門講座: ( ) + ( )
- 課題発見ゼミナール(後期): 「論理的思考力+物事の多面的理解」の( )

### 【この授業の目的】

- 論理的思考力・多面的理解 (=総合科学的思考) = 正しく考える力。
- 「正しく考える」とはどのように考えることか?  
=  
=  
≠ 「思い」「信念」「感想」「妄想」  
≠ 頭の中にあるものを取り出してくる。

### 【興味関心と学び】

「大学では自分の興味関心に即して学びます」

「正解のない問題に、自分で解答を与えます」

→

→

★ 「正解はない」場合でも、「誤答」はある。

★ 説得力のある解答とない解答がある。

### 【興味から知識へ、知識から知恵へ】

- 高校までの「調べ学習」: 興味→調査→報告。最初の「興味」が変わっていかない。
- 興味をきっかけにした学び

### 【意味のある興味関心】

- どんな興味関心ならいいのか? =
- 知識の体系は、欠けている部分への問い・体系内部の齟齬を解消するための問いを必然的に問う。  
→

→学者は、学問的に意味のある興味関心の中から選んで研究している。

- ・ 知識はそれ自身として、お互いに支えあう体系となっている。
- ・
- ・ 断片的な知識をいくら集めても「雑学」
- ・ 大学では、自分の「知識の体系」を可能な限り大きく育て、可能な限り「知恵ある者」になってほしい。そのためには、体系的な練習です。
- ・ 具体的には、この講座では、毎回の授業に対する「コメント」を書きます。
- ・ 客観的な根拠のある、論理的な主張をするように心がけてください。

具体的には、

- ① まずは、授業の内容の要点をまとめる。
- ② それについての意見・質問を書く。
- ③ 意見の根拠や質問をする理由を書く。
- ④ 質問した場合には、自分なりの解答とそう解答する根拠も書く。

根拠や理由については、勝手に考えたこと・思いついたことでなく、きちんと調べて客観的な証拠を示す。

### 【総合科学入門講座・日程】

4/13 総合科学的な考え方（山口）	5/25 読書の勧め（依岡）
4/20 学術的発想と書き方①（山口）	6/1 クラウドファンディング（矢部）
4/27 同②（山口）	6/8 後期「課題発見ゼミ」ガイダンス
5/2 お休み	6/15 主権者に必要な力①（饗場）
5/11 留学制度の説明（田久保）	6/22 同②（饗場）
5/18 資料・史料の読み方（荒武）	6/29 まとめのパネルディスカッション

### 【授業のウェブページ】

<http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/shin-kokusai/scienceandhumanity/top.html>

- ・ 徳島大学→総合科学部 Top→「総合科学入門講座」
- ・ 「総合科学入門講座」→検索
  - 授業で使ったファイルを掲示：復習（後述の宿題）
  - 授業中はノートを出して、要点のメモを取る。
  - 来週は、配布資料は自分で印刷。
  - 授業の掲示板：質問やコメント、議論のつづきはこちらで。